

みなみっ子

令和7年7月 I 5日(火) 南城市立大里南小学校 文責 校長 與儀 毅

学校教育目標 〇かしこく 〇やさしく

Oたくましく

今回の学校だよりは、I学期を振り返ります。

7月 | 8日(金)で令和7年度 | 学期の終業です。| 年生にとって4月はドキドキ・ワクワクの毎日だったと思い ます。下の写真は4月17日の様子です。はじめてクラスになった友だちとゲームなどをして仲良くなりました。



企画・運営した「なんじいをさがせ」があります。

私たち大里南小学校は全校児童が多く、同学年でも 名前がわからない場合もあります。異学年となると更 に関わりが少なく、学校のクラブ活動で4年生以上が 10 時間程度関わることや、スポーツクラブや地域行事 で関わる程度でしかありません。

そこで縦割りの遊びを企画し、関わる機会を作って みることとしました。運営委員会と校長との話し合い 当初は、テレビ番組でやっている「かくれんぼ」をや

次第に教科の学習も進め、今ではペアやグループで愉し く学習する姿や、タブレットも使えるようになり、でき ることが沢山増えた | 学期でした。他の学年も 4 月の頃 に比べたら、沢山できることが増えています。小学校の 最高学年である6年生の | 学期の頑張る姿もとても印象 的でした。

| 学期の出来事で例年とは異なる取り組みに、6年生 の運営委員会(児童会役員)の皆さんと校長とで協働で



りたいとの話もありましたが、安全性や実行可能性を考えた結果、「なんじぃのハートのひげが無くなったとし、 それをさがす」遊びを考案しました。実施してみると改善点が出てきて、その都度改善を試み、5 クラスとも実施 しました。校長としての願いは、縦割りの関わりもありますが、児童が企画し運営することを通して多くのことを 学んで欲しいことと、学校になかなか登校ができていない児童の登校するきっかけの一つとなって欲しいことがあ りました。2学期以降も、児童が企画・立案し実行する取り組みを行っていきたいと思います。

I学期の Challenge(チャレンジ)は児童だけではなく、私たち教師も取り組みま した。それは授業改善です。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、各学年 で日々の授業改善に努めています。まだまだ道半ばではありますが、夏休み期間 中にも研修を重ね、2学期以降の授業改善に活かします。

下の写真の学年掲示板での学習の見通しと足跡も私たちの Challenge です。





